

【様式例・記載例】（法第10条第1項第7号関係「翌事業年度の事業計画書」）

〇〇年度の事業計画書

〇〇年〇〇月〇〇日から〇〇年〇〇月〇〇日まで

特定非営利活動法人〇〇〇〇

1 事業実施の方針

- ・以下の事業を確実に実施することを目標とする。
- ・前事業年度に発足させたホームページの開設準備委員会の検討については、検討結果を通常総会に付議できるよう議論を進める。事業年度内の開設を目標とする。
- ・□□□□□□□□ . . . . .

活動予算書で事業費を事業別に区分している場合に記載します。この場合、各事業の予算額の合計額と、活動予算書の事業費合計額を一致させます。区分していない場合は、任意の記載事項です。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	事業費の予算額 (単位:千円)
環境美化を目的として清掃を行う事業	・地域の通学路や駅周辺の清掃を行う。	年2回（5月と10月に行う。）	地域の通学路や駅周辺	20人	通学路や駅を利用する市民 不特定多数	600
活動支援を目的として助言を行う事業	・地域の通学路や駅周辺の清掃を行う活動の実施を検討している他の団体を支援するため、電子メールの利用による助言窓口を開設する。	ホームページの開設後、随時実施する。	主たる事務所	3人	助言を希望する団体 4団体	200
自然環境の保護に関する講演会を開催する事業	・大学、行政、他の特定非営利活動法人に所属し、自然環境の保護に関する研究や実務に携わっている方々を招き、講演会を開催する。	年2回（1月と7月に開催する。）	〇〇市民センター	9人	自然環境の保護に関心がある市民 各回60人	1,300

その他の事業を行う場合のみ記載します。

特定非営利活動に係る事業の事業内容とその他の事業の事業内容とは、相違点を明らかにして記載します。

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	事業費の予算額 (単位:千円)
会員相互の親睦会の開催	・会員相互の意見交換のため、親睦会を開催する。	年1回(12月)	〇〇会館	20人	100
チャリティーコンサートの開催	・自然環境の保護に関するイベントにおいて、チャリティーコンサートを開催する。	年1回(3月)	〇〇ホール	15人	600

記載する場合には、各事業の予算額の合計額と、活動予算書の事業費合計額を一致させます。  
区分していない場合は、任意の記載事項です。

(備考)

- 1 設立当初の事業年度の事業計画書及び翌事業年度の事業計画書は、それぞれ別葉として作成します。
- 2 特定非営利活動法人が行う活動は、特定非営利活動が主たるものでなければなりません。この尺度は、活動に投入された金銭的評価によるものだけではなく、投入されたマンパワーや実施期間をも考慮する必要があります。よって、それらを判断するためにも、上記のような項目が記載されていることが望ましいといえます。
- 3 必ずしも上記のような枠表形式である必要はなく、例えば事業名毎に各項目を記載する文章形式でも構いません。
- 4 「2 事業の実施に関する事項」は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載します。
- 3 「2(2) その他の事業」には、定款上、「その他の事業」に関する事項を定めているものの、翌事業年度にその他の事業を実施する予定がない場合、「実施予定なし」と記載します。